

# 警城時報

福島縣石城郡平町藤原村五十四番地  
編輯兼發行所 藤原村五十四番地  
印刷所 藤原村五十四番地  
電話掛號 五十四番地  
郵便掛號 五十四番地  
電話掛號 五十四番地  
電話掛號 五十四番地  
電話掛號 五十四番地  
電話掛號 五十四番地

## 警察當局で調査した 石城地方の政情

### 政友會の凋落に比して 擡頭してきた民政黨

来る帝國議會は解散疑ひなしと題等のため有権者中大多数を占見込みをつけてゐる其勢では過る中流以下の信望幾分薄般警察部を通じて平署高等係にらいた傾嚮あり、民政黨の勢力對し地方政情並に各政黨消長のを六と見れば政友會は三乃至四位の程度であらうと見られてゐるらしい。無産黨の勢力に至つたのでこの命令に接した平署では横地部長が主任となり、四會植田各警察署と連絡をとり極秘に調査の歩をすすめてゐた。今度大體その調査を了したが、警察當局では石城地方の政黨の勢力を如何に見てゐるかに對して、如何は民政黨に影響する事多大て仄聞するに、民政黨は事毎に察當局に於て調査した政情である熱心なる政黨擴張を試みた結果が、眞否如何は別として或る現在では非常な勢力を有するに程度のおくは足るものがある。至つたが、一方政友會は銀行間うらうといはれてゐる。

## 幾分昂騰を豫想される 石城地方の米價

### 例年より持米も少ない

石城郡に於ける白米(四等米)の物検査所に於て調査した石城郡相場は一俵十一圓二十七錢で取の在米高は一〇、四一五石引きされ七月十一日一圓十五、▲地主持米 二、四八五銀の相場に比較して十二圓高値 ▲自作者持米 五、八八二である、收穫期を前にして相場 ▲商人持米 六、七四八が高くなつて来たのは品不足の合計 四萬五千五百二十四石結果であつて七月一日現在平穀であつたが、七月以降九月中旬

今年に於ける二ヶ月中の石城郡に於ける白米消費量は四萬八千余石であり持米では不足を告げてゐる程でこの不足は他地方からの移入米に依つて補充して居る七月以降の移入米高は一萬一千七百七十石に達し持米高と合計すると五萬六千六百九十四石となり之れから消費量を差引いた七千九百六十九石が九月中旬現在に於ける石城郡の在米高である、毎年收穫期に近づくに連れ持米高の減少するのは當然であつて例年は十萬石程度であつて

## 平郵便局で 書記補任命

平郵便局では今回左の如く判任の任命があつたが、之が補充は仙臺通信講習所から事務員が來任した。

書記補 成田 末治  
事務員 箱崎清八、菅野平治郎、大友義明、阿部清吾、白石護、駒澤保三  
各任書記補

## 小田炭礦の爭議團 會社に救いを求む

### 萩原社長の同情的態度 問題は圓滿に解決

石城郡好間村小田炭礦株式會社與する事となり問題は全く圓滿の不良坑夫解雇に端を發し、大に解決した。

衆議で爭議を計劃したが、一般従業員は誰れ一人雷同して行動を共にする者がなかつたので自然消滅の状態となつた事取組の如くであるが、會社側では最初の聲明通り黒羽助を断然解雇城郡勿來町役場集會上開始されたので黒羽は忽ち路頭に迷ふ

## 勿來で講習

中堅農民  
清水眞澄、中原四郎兩氏等と會社等視察後同町小學校に於て社に萩原社長を訪れ過去の不徳大町長、大内小學校長、赤津賞品授與ありて午後五時折柄の懇話會に於て萩原社長は黒羽があつて散會した、次回は十月に對し汽車貸として金若干を惠三日錦村に於て催す筈である ▲遠矢三十三間 一等渡邊紫香

## 既に一萬貫を突破した 四倉市場の取引高

### 晩秋蠶が出廻れば 三萬貫に達せん

四倉市場十七日の取引高は四十九貫で高値六十八圓三十錢、安値五十八圓六十錢、平均六十七圓二十錢であるが、秋蠶取引開始以來取引額一萬六千八百八貫に達した、同市場の秋蠶取引は十月中旬まで繼續する筈で、もう四五日過ぎれば晩秋蠶に出廻りを見る可く晩秋蠶の取引額は二萬貫以上を豫想してゐるから結局同市場の秋蠶取引は三萬貫を突破するものと見られてゐる。

## 電話架設費納入は 平局始つて以來の不成績

平郵便局に於ける本年度の電話架設費は四十口であつて、之がかうした不成績な事は平局始つて以來嘗てない事である。第一一回掛込金百五十圓は十六日限り納入すべき筈であるのに納入成績甚だ不良で平局では猛烈な催促を行った結果漸やく三十名が拂込みを了した、七口は権利消滅となるわけで之は豫備

## 妙案を浮べた老爺 移出米違反で告發さる

### 一里の途上に運搬の跡

石城郡勿來町字關田赤津伊助た、處があに計らんや紛袋の底(五〇)は近頃米價が低落したのが少し破れてゐたので自宅前か(一俵八錢宛)の検査手数を拂ら平湯村まで一里余の道路上に中であるが、死体に纏つてゐた腰の紐糸を端緒に調査した結果右は茨城縣那珂郡神崎村住谷みす(二二)らしいと見當をつけ即刻調査を開始した、同人はかねて同郡上野村關利助方に嫁入りし家庭の事情で實家に歸つてゐたが去る七月二十九日無斷家出し八月二十四日付で平局の消印ある自殺の旨の遺書を書實家に送りそのまゝ行衛不明となつてゐるのである。

## 船中競射

石城郡鮫川釣場會の船中大月會は十五日午前十時から初秋鮫川に行はれた、出場者約五十名、先づ定刻遠射から初まり、船中は初漁の大蛙に舌つづみを打つといふ趣向、當日呼物の扇の的は源平二組に分けられて競射された、鈴木平湯町長が古武士然たるいでたちに古式の禮射あつて佐藤春水氏の琵琶「那須の與」に合せて、いよく源平合戦となる、かくて競射は各自船中より扇の的へ二射したが船

## 鮫川で 溺死女か

石城郡豊間村沼の内海岸に漂着たものである。

## 竹の子劇三の替

下山竹の子十八日三の替り狂言 ▲一番目笑劇裏と裏 ▲二番目現代劇お愛ちやん ▲中幕時代劇會津の小鐵 ▲大切百々夜車

ハガキ集

投書歓迎
▲十七日の朝○屋の自動車
が播磨小路のフミキリの方から
勢ひよく走つて来て前方に

時報文藝

徒然なるまゝに
仲秋の宵病床にて
うしを女生

久しぶりで今日は心を痛める
腹痛もこなかつたし、皆んな
外出して自分一人だつたので

れる夜気のしめり気さへいと
心地好く一そう情緒をそよつ
てくれる、思ひでよ、なつか

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・ブランク・白 1.1 0
マルソー・ルー・ジ・赤
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

心地良き秋が訪れます
秋向尺モスリンと
帶側が澤山入りました
御仕度は當店
亀田屋
電五七

貸家廣告
平町新川町三三番地
二階建、商店向き
平町新川町十八番地
平家、商店向き
右何れも水道つき
委細は御來談下さい
平新川町
電一三三
中野勇吉
驚いた!!!
こうまで安いとは
平・加納活版所の印刷物

譲り度し
平町田町常磐銀行支店横通り
商店向き家屋
(姓名在社)

煙突は
朝日
石綿セメント製
朝日煙突
絶対にはげない!!
経済的で
火災の心配がない
久益屋商店
電話 九三三

支那六神丸
特約店 平町五丁目 山野邊藥局
新妻眼科醫院
平町 宇紺屋町
入院應需 看護婦一名至急募集

謹告
弊店夏期氷水販賣中は特別の御用命に預り
有難く御禮申上候今回蒲鉾の季節に相成候
爲從來通り蒲鉾製造販賣を開始致候間倍舊
の御虫負を願上候 店主 敬白
水戸市昭和商工博覽會へ出品し
一、蒲鉾 一等賞金牌
一、鯉節 二等賞銀牌
一、サツマ揚 三等賞銅牌
尚サツマ揚、磯邊揚は大々の勉強致升
平町二丁目
藤市
電話三〇五番

外科 花柳病科 専門
平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番
エラノスケ粕取焼 耐發賣
二合白瓶二十五銭(空瓶交換仕候)
平町四丁目平驛通り
永山酒造店總發賣元
電話二〇七番

靴とカバンは
福山に限る
平町役場前 福山靴店